

私のすすめるこの1冊

佐藤 卓也 (連合教職実践研究科 教授)

『逆ソクラテス』

伊坂幸太郎 (著)

私のおすすめの一冊は、伊坂幸太郎氏の短編集「逆ソクラテス」です。特に、これから教壇に立つ学生の皆さんに、ぜひおすすめしたいと思っています。とは言っても、教員のノウハウなどが書かれているわけではありません。この本を通じて、大切な視点や心構えを見つけてほしいのです。

この本との出会いは、新型コロナウイルスによる長期間の臨時休校から再開しようという2020年6月でした。「佐藤先生、これ、抜群におもしろいですよ。」と薦められ、コロナ禍で暗い気持ちになっていたあの時期に、元気をくれるとともに、いろいろ考えさせられる一冊となりました。

伊坂幸太郎氏の作品は、小説もそうですが、「アヒルと鴨のコインロッカー」や「ゴールデンランバー」など、多くが映像化されているので、ご存じの方も多と思います。(ついでに、ハリウッド映画「ブレット・トレイン」の原作は、同氏の「マリアビートル」です)

そんな伊坂幸太郎氏の作品の中でも、この短編集は、主人公が「子ども」であることで、異色です。短編が5編あり、「逆ソクラテス」「スロウではない」「非オプティマス」「アンスポーツマンライク」「逆ワシントン」、題名の共通点、お分かりでしょうか？例えば、最初の「逆ソクラテス」では、何がソクラ

テスと逆かという、子どもに対して先入観を持って指導する先生が登場します。ソクラテスといえば「無知の知」ですが、自分はなんでもわかっていて何でも決めつける久留米先生は、その反対で「逆ソクラテス」。子どもたちは、先生に改めてもらおうと作戦を練ります。以下、「スロウではない」「非オプティマス」「アンスポーツマンライク」「逆ワシントン」と続きます。

「いじめ」や「虐待」など、子どもたちに関わる今日的なテーマを入れながら、伊坂氏は、子どもの言動を通して、独特の視点で、今の子どもたち、そして大人に対して、エール(伊坂氏曰く、「難題を攻略するアイテムというかヒント」)を送ってくれます。

子どもたちの話だけに、嫌な教師や指導者が出てきますが、そこは、反面教師として受け止めながらも、(もちろん「磯憲(いそけん)」といういい先生も出てきます)同じ、教員として身につまされることも多く…、いや、こんな説明より、まず読んで、爽快な読後感を十分味わってください。

未来の教員の皆さんには、この本を読んだ上で、子どもたちと出会ってほしいと言うのは言い過ぎでしょうか。

同調圧力が高いと言われている昨今、決めつけてくる相手に負けない方法は、「僕は、そうは、思わない」です。詳しくは、本をお読みください。

学修相談カウンター 10月から再開します！

学修相談カウンターで先輩に相談してみよう！京教の先輩が勉強や教育実習などのお悩みに対応してくれます。ぜひ気軽にお立ち寄りください♪

【場所】北館2階 ラーニングcommons

※対応可能な分野や時間、その他詳細については図書館ホームページ等をご確認ください。



☆☆図書館は、いつもみなさんの「まなび」を応援しています☆☆



QRコードからもチェックしてみてね。



図書館講習会のお知らせ

【実施期間】10月17日(月)～11月18日(金)

予約制(上限3名程度)

前期と同じ内容です。詳細は図書館HP等をご確認ください。

連動企画：データベースのプラス50アクセスアップ

朝日新聞クロスサーチ：10/17(月)～11/4(金)の平日

ジャパンレッジ：10/17(月)～10/21(金)

ブックハンティングを開催します！

ブックハンティングとは、学生の皆さんが「図書館においてほしい本」を書店で選べる企画です。後期は実際に書店に行く「店頭選書」とネット書店で選べる「Web選書」を実施します。前期に参加できなかった人も、この機会にぜひお申し込みください！

【募集期間】10月14日(金)まで

【申込方法】library★kyokyo-u.ac.jp(★を@に変換)宛に、学籍番号、氏名、店頭かWebか、を明記して送信。件名を「ブックハンティング申込」とすること。

【店頭選書日時】11月16日(水)13:30～15:30
現地集合、終了次第解散

【場所】丸善ジュンク堂京都本店(河原町BAL内)

【Web選書期間】10月24日(月)～11月18日(金)

※詳細は図書館ホームページにて

前期で選ばれた本を展示しています！

【展示期間】9月26日(月)～10月31日(月)

【展示場所】1階渡り廊下



eBookの試読ができます

電子書籍 Maruzen eBook Library(丸善雄松堂)の試し読みができます。

【実施期間】10月17日(月)～12月16日(金)

学術書など約7万点が読めますのでぜひこの機会にご利用ください。

リクエストと投票で話題の本を読もう

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画です！リクエストや投票にぜひ参加してください！

10月の投票期間は

10月3日(月)～10月17日(月)

職場体験

10月18日(火)から20日(木)の3日間、京都市立深草中学校2年生のチャレンジ体験を受け入れます。ご協力をお願いします。

夏季休業に伴う長期貸出について
返却期限日は10月11日(火)です。

分別ゴミ箱を新設しました

図書館の北側玄関前に、学内共通の分別ゴミ箱を設置しました。これに伴い、10月から館内閲覧室のゴミ箱を撤去します。

今後は分別ゴミ箱を利用ください。

京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第33回のお知らせ



【日時】10月中旬YouTube公開予定
【場所】今回はYouTube公開のみです
【講師】赤松 大輔(教育学科 講師)
【テーマ】子どもの学びを科学するー教育心理学ー

<概要>変化の激しい現代社会において、学習者には自分自身をうまく動機づけて、学習過程をコントロールしていきながら、学びを進めていく必要があります。また、学校教育においても「主体的な学び」や「深い学び」の重要性が指摘されています。それでは、こうした学びのあり方について、学問的にはどのような研究が進められてきているのでしょうか？

教育心理学では、こうした問題にかかわる学問領域として、自己調整学習という研究領域があります。自己調整学習は、「目標達成に向かって、学習者が自身の思考、感情、行動を体系的に方向づけるプロセス」として知られています。本講座では、自己調整学習に関する知見を紹介し、教育現場での実践にどのように活用できるか、動画配信を通して皆さんと考えるきっかけにしたいと考えております。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

雑誌の製本作業について

8月から11月中旬(予定)まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2020年~2021年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。

製本後はすべて西館3階(書庫)に並べますので、そちらをご利用ください。製本対象リストを図書館ホームページに掲載しています。

企画展示室

第4回教育展「先生を目指した女性たちー京都府女子師範学校の歩みー」

京都教育大学のルーツのひとつである京都府女子師範学校について、そこで行われた教育や地域社会との関わりを中心にをご紹介します。

【会期】11月11日(金)~2023年1月10日(火)
※11/13(日)は藤稜祭のため開館、11/26(土)は大学入試のため学外者入館不可

【時間】図書館の開館日時に準じる

【会場】附属図書館 北館1階 企画展示室

講演会

【日時】12月10日(土) ※入場無料

【会場】図書館北館2階 研修・セミナー室1

※申込方法等詳細は後日HPに掲載します。

児童書コーナー(南館1階)

幼児教育科主催
えほんのもい

※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

今月の絵本カード(学生作)



『もったいないばあさん』
作：真珠 まりこ 出版社：講談社

好評開催中!

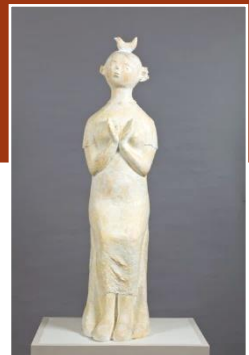
第10回 京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー
2023年3月25日(土)まで
※本学は連携参加大学です。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【10月の開館日時】
3日(月)、10日(月・祝)、17日(月)、24日(月)、31日(月)
14:00~17:00

今月の逸品(10・11月)

『鳥と語る』
木代喜司(京都教育大学 名誉教授)作
展示場所：教育資料館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 荻野 雄 (社会科学科 教授)

「寺山修司と新左翼」

荻野 雄

京都教育大学紀要 2022, No. 140, pp. 83-101
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9681>

寺山修司(1935~1983)は、多岐に渡る領域で活躍した戦後日本を代表する芸術家の一人です。もともとは短歌で注目された寺山は、こうした詩的創作の延長上に評論家として(『書を捨てよ、町に出よう』等)、また作詞家としても(「時には母のないこのように」等)活動しました。さらに1960年代後半には寺山は演劇の世界にも進出し、「天井桟敷」を主宰して「毛皮のマリー」、「奴婢訓」など今日まで繰り返し上演されている戯曲を発表したほか、「田園に死す」等の映画の監督を務めました。(寺山の映画作品は、庵野秀明にも影響を与えました。)のみならず寺山は、競馬評論家としても名を馳せ、「競馬が人生の縮図なのではない、人生が競馬の縮図なのだ」といった広く知られるコピーを残しています。

青年たちに「家出のすすめ」を説くなど、世間に対して挑発的でもあった寺山修司は、生前からセンセーショナルな存在でしたが、死後にいっそう評価を高め、没後10年には寺山ブームが起きました。没後40年を迎える来年には、さまざまな場で寺山が語られることが予想されます。

さて寺山には、今日まで十分知られていないさらなる顔がありました。それは、「革命」活動を支持する知識人としての顔です。といっても、寺山は「戦後民主主義」にも社会党や共産党にも終始冷淡でした。寺山が強く惹かれたのは、60年代末から興隆した、「新左翼」と呼ばれる青年たちの反体制運動でした。本稿は、寺山研究への小さな貢献として、寺山修司と新左翼の関わりについて考察しています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要140号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2022年10月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

10/3 後期授業開始
10/22 大学院入試(学外者利用不可)

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

2022年11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

11/2 館内整理日
11/11-13 藤陵祭
11/26 推薦入試(学外者利用不可)

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
(QRコード→)



京教図書館 News No.265 (2022年10月号)
発行日:2022年10月1日
編集発行:京都教育大学附属図書館
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION